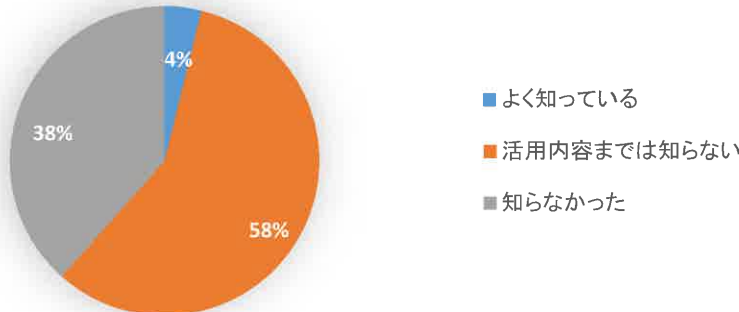


Q. 道建労協を知っていましたか？

【 回 答 】



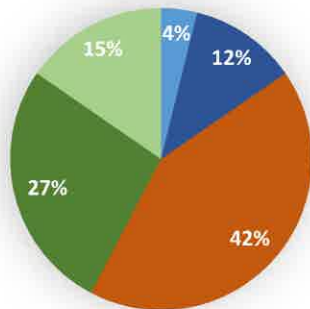
☹️ ・「よく知っている」または「活用内容までは知らない」の回答は全体の62%でした。
・「知らなかった」の回答は全体の38%でした。
・道建労協の認知度向上に努めてまいります。

Q. 道路業界を就職先とした理由は？

- 地図に残る仕事に憧れ地図に残る仕事に憧れを持ったから。
- インターンシップで興味を持ったから。
- 勧められたから。
- 物づくりに興味があったから。
- 時代的な面もあるが、内定もらった建設会社の中で施工管理として現場に出れる会社がたまたま道路業界だったため(他は研究所等だった) 学生時代に建設業界のインターンシップに参加し、その際の現場が偶然にも舗装の現場であった。
- 以前から、道路業界に興味はあったがそのインターンシップをきっかけに道路に特化した企業に就職しようと感じた。
- 生活していくうえで必要不可欠なものづくりを行いたい、綺麗な舗装が施工されることに魅力を感じたので道路業界に就職を希望した。
- 道路業界は、男社会のイメージが世間にはあると感じている。男女が生涯働く世の中で、女性も道路業界で働き続けられるというのを築きたいとも思い道路業界に就職した。
- 大学で交通システムの研究をしていたため興味があった 建設業界の中で、道路が自分にとって身近と感じたため。
- ものづくりに携わりたかったため 第二新卒として働けることと給与条件がよかったため 就活をしている際に、当時就活のアドバイザーをしていた方に進めて頂き1回やってみようという気持ちで就職しました。
- 公共工事の仕事に携わりたかったため。
- 道路という点にはあまりこだわりを持っていなかった。
- 大学の進路を決める際、3.11が起こり、液状化された道路や、寸断された道路を即時復旧して物資を運んだというニュースを見て、道路業界が強くイメージに残り土木学科に進みました。その流れで道路業界に絞って就活をしました。
- この業界しか内定が出なかったため。
- 高校の担任からのすすめで。
- 派遣で仕事をしているうちに、仕事内容にやりがいを感じたのと、モノづくりの過程にわたしが携わった仕事に影響していることに感動したため。
- 建築系の学部を出ていて、生かせる部分があるのではないかと思ったから。
- 学生時代の専攻にあっていたため。
- 就職時にやりたいことが特になく困っていた時に、大学教授の勧めで説明会に行きました。道路は身近に感じられる業界だったので、それが決め手です。
- 建設業界に興味を持ったため いろんな現場を経験できるとおも 他と違う事をしてみたかった 道路を作る仕事がカッコいいと感じたため。
- 周囲の友人達とは異なる仕事をしてみたかったため。
- 道路の構造に興味があったため。
- やりがいを日々感じられると思ったから を持ったから。
- いろんな現場を経験できると思ったため。
- 他と違う事をしてみたかったから。
- 道路を作る仕事がカッコいいと感じたため。

Q. 道路建設業は女性が働きやすい業界ですか？

【 回 答 】



- 大変働きやすい
- まあまあ働きやすい
- どちらとも言えない
- やや働きにくい
- 大変働きにくい

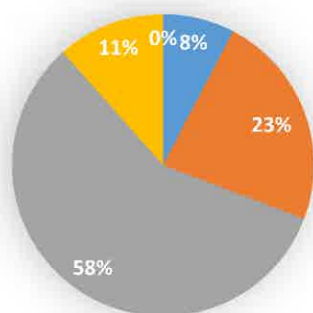
- ☹️ ・「働きにくい」と感じている回答は全体の42%でした。
・「働きやすい」と感じている回答は全体の16%とでした。
・「働きにくい」が「働きやすい」を大きく上回っている状況です。

「働きにくい」理由は？

●ライフステージに変化のない健康かつ体力のある人ならば問題ないと思うが、そうでない場合に会社内で配置できるポストが限られるため(設計・調達系の内勤の部署がない)。
●短時間勤務や残業免除の利用は可能だが、利用中の能力UPが見込めない様な仕事をさせられマミートラックに陥るような扱いをしているため。社内婚であっても子育てのために仕事を諦めるのは女性だという風潮があるため。
●働き方改革や女性活躍のための制度作りが遅れているが、ダイバーシティ推進室など不満を受け入れ制度改革に役立つ部署を会社が設置しておらず改善に取り組む姿勢が見えないため。先行き不安な中でキャリア形成に時間を使うよりは、他業界でロールモデルがいる方が業務に集中できると思うため。
●弊社の女性社員は、工期が比較的長い現場や設備が整っている現場に配属されやすい傾向にあると感じる。しかし、働き方改革が実施されているとは実感できおらず、女性特有のライフステージの変化に合った働き方が出来る環境がないと感じるため。
●自身が弊社で働き続けることは可能だと感じるが、現職種で働き続けられることに希望を持つことが出来ていないため。
●働きやすいが、同業種の女性に知り合いが増えたら仕事での悩みなどをより気軽に話せる・共感してもらえるのに、と思うことがある。
●道路に限らず建設業で女性が現場に出続けるのは難しいと思う。
●婦人科系の問題など同性同士でも理解できないのに男性に理解を求めるのも難しいし、今は男女の問題ではなく個々をみるべき時代ではないか。
●女性が少数派で共感してくれる人が少なく、意見を言いづらい雰囲気があるため。
●工期が長く、現場事務所を構えられるような現場であればトイレや更衣室を設置できますが、大半は短期間で終わる現場がほとんどだと思います。(女性だけに限った話ではないですが、)また、現場(技術職)の話だけに限らず、内勤の場合でも、会社全体がまだ男性社会のような感じですので女性のキャリアビジョンを考えた時に不安な面はあります。
●肉体労働である。
●休日出勤、長時間労働が常態化している。
●男性が圧倒的に多く、女性の悩み(生理や妊娠に関することなど)が相談しにくい。事業所によっては、派遣の方を含めても周りに女性が誰もいないこともあり得る。
●男女差別の無い社会になってきてはいるものの、やはり根本としては女性の方が作業員の方から舐められてしまうことも多いと思う。
●結婚や出産となったときに、定時上がりもしくはテレワークの活用ができないと厳しいと感じる人がほとんどだと思うが、やはりこの業界で現場に従事するとすると難しい問題となってしまいうため、離職する選択肢が多く出てしまうと思う。
●まだ男社会という風潮が根付いており、まだまだ3Kを感じる現場も多数あるように感じる。
●道路工事だとトイレが男性と共用のことがあり、入りたくなく我慢することが普通になっている。このような小さなストレスが徐々に溜まっていくため。
●女性が働く環境が整っていなかったため。
●トイレが整備されていない。
●女性一人での夜勤に不安を感じているが、取り決めがない。
●産休や育児休暇の際の働き方が不明瞭に感じるため。
●建物が古い・トイレが汚いこと
●体力面や精神面、環境面

Q. 会社での働き方に満足していますか？

【 回 答 】



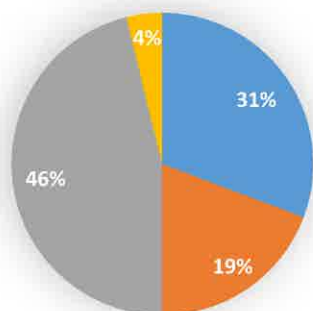
- かなり満足
- 満足
- 普通
- 不満
- かなり不満



- ・会社での働き方に「普通」の回答は全体の58%でした。
- ・「不満」の回答については、以下の点に不満を感じると回答がありました。
 - 福利厚生が充実していないから。
 - 女性技術者を増やしていこうという考えやビジョンが感じられないから。
 - 時間外労働が多いから。
 - 有給休暇が自由に取得できないから。
 - 休日出勤が多いから。

Q. 今の会社で働き続けたいですか？

【 回 答 】



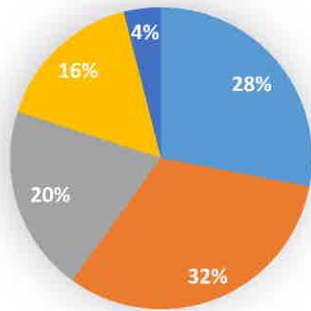
- 働き続けたいと考えている
- どちらとも言えない
- 働き続けたいが、続けられない
- 働き続けたくない



- ・「働き続けたいが、続けられない」の回答は全体の46%でした。
- ・働き続けられない理由として以下の回答がありました。
 - 異動があった場合、単身赴任を配偶者が受け入れない可能性があるため。
 - 子の養育中に異動があった場合、ワンオペフルタイム勤務になる可能性があるが、それを拒否する権利がないため。
 - 出産後にどんな仕事を担当させられるか不明なため。
 - 依然として女性が子育てをすることが当たり前のような考え方がこびりついているようで、子育てをしながら働くことについてどのような弊害があるのか周囲の理解が見られないため。
 - 所属事務所の所長等は理解があるが、特に上層部の考えが時代に追いついておらず、この会社では昇進やレベルアップを目指すことが不可能と思っているため。
 - 今後の自分のキャリアを考えた時に将来が見えない。
 - 女性が働き続けられる場所ではないと感じている。
 - 肉体的にも精神的にも負荷がかかる仕事で、将来結婚し出産から子育てを考えると、現実的に仕事を続けるのは、厳しそうだなと感じる。

Q. 仕事で男女差を感じますか？

【 回 答 】



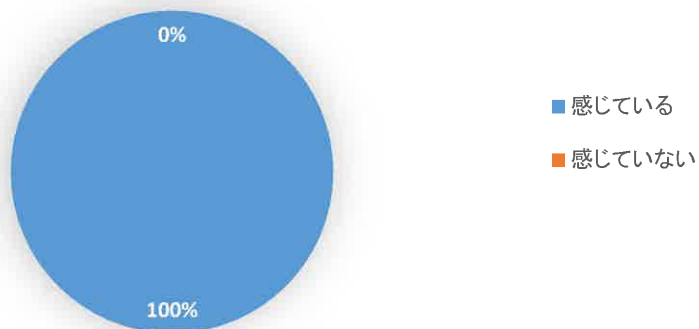
- 感じる
- やや感じる
- どちらとも言えない
- あまり感じない
- まったく感じない

男女差を感じるのはどの様なときか

- 体力的な面ではデメリットとして、職場での人間関係ではメリットになる。
- 性的役割思想に基づく発言があった時。
- 女性が仕事をセーブし、男性が残業をする体制が当たり前である点。
- 女性が少ない業界で、女性の意見が優遇されることがある(いい意味で)。
- 女性だからという理由で理不尽を被るときもそうだが、普通に重たいものを持てる限度も違う。
- まだまだ役職に就くのは女性より男性だなと感じる。
- 力がある仕事を任されたとき。現場の時で言えば、女性は快適トイレや更衣室を置かなくてはいけないから経費がかかると言われたことがあり、女性は現場にいれないなと感じました。
- 体力勝負の業界ではあるので、男性の方が力があり、体力もあるところは男女差が出ると思う。
- 昨今のハラスメント問題も含めて男性側も気を使っているので、男性に対する扱いと女性に対する扱いが同じではないと感じるとき。
- 良いことだとは思いますが、気を使われすぎるのも男女差を感じてしまうので難しい問題だと思っています。
- 下請け業者の対応に差を感じる。
- 監督として見られないことやガードマン等からの対応が他の社員と異なるとき。
- 同じように外の仕事をして事務所に帰ってきたとき、体力に差を感じる。

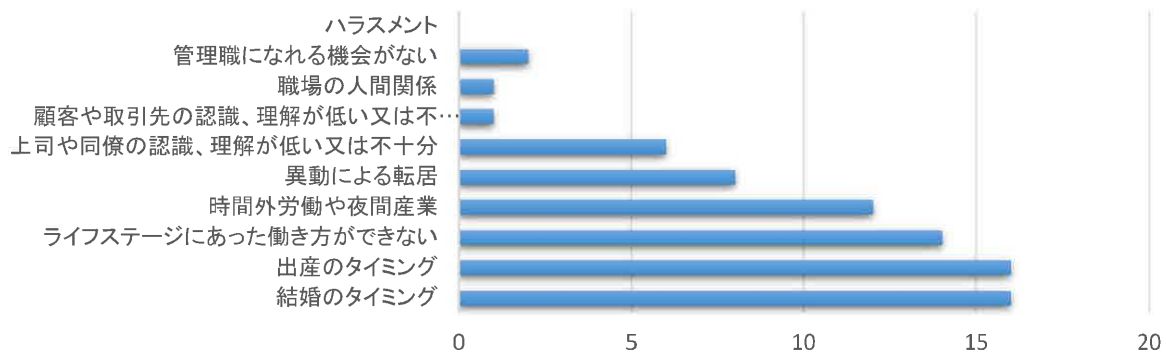
Q. 女性が活躍し続けるために障害を感じているか？

【 回 答 】



「障害」の内容について。

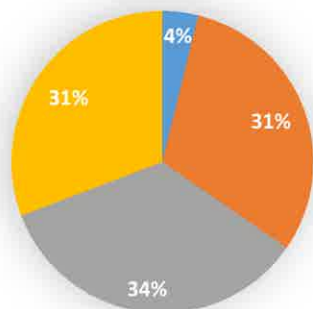
【 回 答 】



- ☹️ ・「障害を感じるか」の質問に対して「ある」の回答が100%でした。
・「障害」の内容については、『出産』や『結婚』や『ライフステージにあった働き方ができない』などのライフステージの変化を「障害」とする回答をが多く挙げられました。

Q. 管理職になりたいですか？

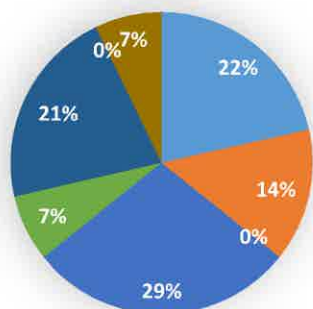
【 回 答 】



- なりたいと考えている
- なりたいが、なれないと考えている
- わからない
- なりたくないと考えている

「なれない」「なりたくない」理由は？



























【 回 答 】





























- 責任が重くなりそうだから
- 定年まで今の会社で働き続ける気がないから
- 現在の待遇に不満がないから
- 今のままで満足しているから
- 特にメリットを感じないから
- 女性の管理職が少なく、女性の管理職のイメージがないから
- 能力に自信がないから
- 結婚後は退職する予定だから
- 他業種に興味があるから
- その他

- ☹️ ・管理職に「なりたいと考えている」の回答が4%でした。
・管理職になりたくとも『なれないと考えている』の回答は30%となり、男女問わず管理職を目指す道を示すことも必要な状況です。
・「なれない」「なりたくない」理由の回答として、責任の重さ、能力に自信がない、メリットがないことが多くあげられました。

私の働きやすい環境NO.1

 女性への理解がある環境
 上司に意見を伝え、反映されるような環境
 更衣室、トイレがきれい
 現状、働きにくいと思っていないので、わからない。最低限の物(トイレ・更衣室等)があれば良い。
 多様な働き方を受け入れ、働き方によらない人事評価がある職場(現場の人員を増やす又は遠隔現場支援環境の整備ができた上での話)
 仕事と休暇のバランスが取れる環境
 女性だけでなく男性も育児や家事を分担できる環境を整えれば、女性だけが仕事をセーブする必要もなく仕事と家庭を両立できる。
 職場の風通しがいいこと。
 【”女性”技術者】ではなく【技術者】として接してくれる環境
 コロナで一旦リモート勤務や無駄な時間を減らす努力をしたのに社会全体としてそれが後退したのはよくないと思う。必要に応じてリモート勤務やWEB会議は取り入れるべき
 土木課の女性が自分ともう1人以上同じ営業所や現場にいることで感じるストレスが軽減されると思います。
 社員の意見を聞いて、実際に改善に取り組んでくれる職場環境
 意見を親身に聞いてくれる会社
 リモートワーク、時差勤務が可能。土日祝休み
 希望している既婚者には転勤がない
 今でも十分働きやすいと思っていますが、新卒採用者だけではなく、未経験者で中途採用で入った方にも、育成のサポートがあると働きやすいと思います。
 質問や相談がしやすく、休日がとりやすい
 女性工事社員の前例が少ないので、働き方の相談や変化が柔軟である。
 パワハラが無く、女性に気を遣って接してくれる環境
 人間関係のよさ
 男女の区別がしっかりできる環境
 老若男女に関わらず意見を言える環境
 DXを推進して業務の省力化を行い、仕事量を削減。
 事務所内の人間関係が良好であること
 女性用トイレを必ず確保し、女性の中には体力や力がない人がいることを周りが理解していること。
 仕事とプライベートを分けられてメリハリがあるお手洗い問題等設備の充実

働き続けられる職場環境に必要と感じる制度

 女性のいる現場では必ず女性専用更衣室を設けるなど
 生理休暇を取りやすい
 土日祝日休み
 業界に関わらず、一般的な制度(産休・育休等)があれば良いです。
 社員へのダイバーシティ・ハラスメント・社内制度教育外部への相談窓口(現状への改善をお願いしても社内制度がないためわがままと見なされる。その意見がご時世的に妥当であれば会社へ提言、違えば本人への助言をしてくれるシステム)
 男女関係なくライフステージに合わせた働き方が出来る制度。
 転勤免除制度。道路業界は工期が短いことが特徴で、工事の人間は1年スパンで転勤がある。しかし子育て世代は、待機児童問題、核家族の増加、高齢者の労働増加等の時代変化の影響で、預け先も周りに頼れる親もない状況にある家庭が多い。よって、短い転勤スパンで働き続けることが物理的に不可能であるため、せめて子供が小学校上がるまでの間は転勤免除制度が不可欠なのではないかと思う。
 制度ではありませんが、事務所の建物やトイレが古く、ねずみやゴキブリが出るような職場環境の改善をしていただきたいです。 事務所内では改善しようと考えてはいますが、会社全体での意識が低いと思います。
 育児休業等制度で所定労働時間の短縮や時間外労働及び休日労働の免除・制限が可能だが、これまでの業務(現場)に戻るのが難しいように感じる。 事務職へ転向するにあたってのフォロー制度等あればと思う。※時短勤務の中で現場復帰されている方がいらっしゃればお話を伺いたいです。
 制度は整っていると思うが、それを利用するための周りの理解がないただし建設業に限った問題ではないと思う
 出産や結婚、女性特有の身体の不調に伴う休み等
 上司と部下の1on1
 出産、育児等のライフステージに合わせて、女性だけに限らず男性も働きやすい制度があれば。今もすでにあると思いますが、転勤や育児を理由に退職される方は多いです。
 ワークライフバランス
 有給休暇の取りやすい環境
 ・週に1度、ノー残業DAYを作る。定時になっても誰も帰らないと帰りづらい。 ・新人がやめないためにも、福利厚生を手厚くする。例えば、転勤族の方には、月に1回土日を確実に休みにし、帰省する費用を負担するなど。
 働き方に関する制度リモートワーク等
 転勤の自由選択
 勤務地の選択ができる制度
 効率よく働ける制度
 制度を活用しやすい環境
 教育者の配置、理解してくれる上司
 現場と書類作業等の分業。
 産休・育休等を取って職場復帰した時のサポート制度
 産休や育児休暇、時短勤務等のライフイベントに合わせて働ける制度
 古い考えをなくす。